

万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けたビジョン【概要】

参考資料 4 - 1

1. ビジョンの策定趣旨

- 2025年大阪・関西万博を一過性のものとせず、そのインパクトを最大限に活かし、「大阪の持続的な成長」と「府民の豊かな暮らし」を確たるものにするともに、万博開催都市として、**SDG s の達成に向けて世界とともに未来をつくっていく**必要。
- このため、**大阪がめざす将来像を描き**、将来像を実現するための**取組みの方向を示す**ことで「オール大阪」の羅針盤となるビジョンを**大阪府・大阪市一体で策定**。
- このビジョンのもと、万博の成功に向けた取組みにあわせ、大阪の将来像の実現に向け、万博のインパクトを活用した取組みを推進していく。

2. 将来像に係る基本的な考え方

意義・視点	・万博のインパクトを最大限に活かした 大阪発展のみんなの羅針盤 とする ・成長、府民・市民福祉に加え、SDGsをはじめ 世界の中での大阪を重視
目標年次	・将来像の年次設定を「 2040年 」とする。 →万博を体験する子どもたちが世界に出て活躍する時代。2040年に団塊ジュニア世代が高齢者となり、高齢者人口がピークに
将来像を導く考え方	「大阪の歴史」、「現在の大阪の位置・ポテンシャル」、「世界の都市の潮流」、「大阪万博はじめこれまでの万博の成果」、「2025大阪・関西万博の意義」、「今後の将来予測」などから 多角的に分析
(参考) 検討の体制等	・ 有識者ワーキング （学識者、企業経営者、学生等で構成）での検討（7月から6回開催） ・各専門分野の 有識者へのヒアリング の実施 ・ 府民アンケート の実施や 学生等との意見交換 を通じ、若者を中心に幅広く府民意見を聴取

3. 大阪の将来像とそれを実現するための取組みの方向

世界一ワクワクする都市・大阪 Osaka - Co-Create Exciting Future -

①多様なチャレンジによる成長
(Diverse Innovation)

②いのち輝く幸せな暮らし
(Human Well-being)

人が中心＝「誰一人取り残さない」
〔「人中心」をベースに、サイバー空間とフィジカル空間の高度な融合により取組みを推進〕

③世界の未来をともにつくる
(Global Co-Creation Hub)

※ローカル、グローバルの両面から3本の柱でSDGs先進都市の取組みを推進



【将来像】：世界一ワクワクする都市・大阪 Osaka - Co-Create Exciting Future - とは

- ・ワクワクする、心躍るといった意味だけでなく、**今後予測される世界、日本の課題**（気候変動、高齢化等）に**ひるまず前向きに進んでいく意味**。また、**こうしたまちを共創していく**という意味を含めたもの。
- ・歴史に培われた人を惹きつける魅力や、「まちがにぎやかでおもしろい」といった、現在の大阪のイメージとも合致。
- ・東京とは異なる個性・新たな価値観をもって、日本の新たな都市像を先導するという、大阪がめざす考え方とも合致。

【3つの柱ごとの取組みの方向性】

- ①**多様なチャレンジによる成長**（多様な人材を呼び込みチャレンジできる環境を創出し、持続的に成長）
→「世界トップのライフサイエンスクラスターの形成」、「革新的な製品等を生み出すイノベーション拠点の形成」、「世界中からチャレンジする人が集まるスタートアップ拠点の形成」、「持続的な成長に向けた環境負荷ゼロの実現」など
- ②**いのち輝く幸せな暮らし**（すべての人が生涯にわたって、自らの能力や可能性を発揮し、健康でいきいきと活躍）
→「誰もがいきいきと活躍できる健康寿命の延伸と「10歳若返り」の実現」、「人の命を守る世界一の安全・安心の実現」、「貧困の連鎖を断ち切り子どもの輝く未来をつくる」、「ワクワクする未来を創る人材の育成」など
- ③**世界の未来をともにつくる**（SDG s の価値観が大阪から世界に広がり、ソーシャルグッドな取組みを推進）
→「①と②の取組みを通じて世界の課題解決に貢献」、「三方よしなど、SDG s の達成にもつながる大阪的価値観を世界へ」

4. 今後の取組工程

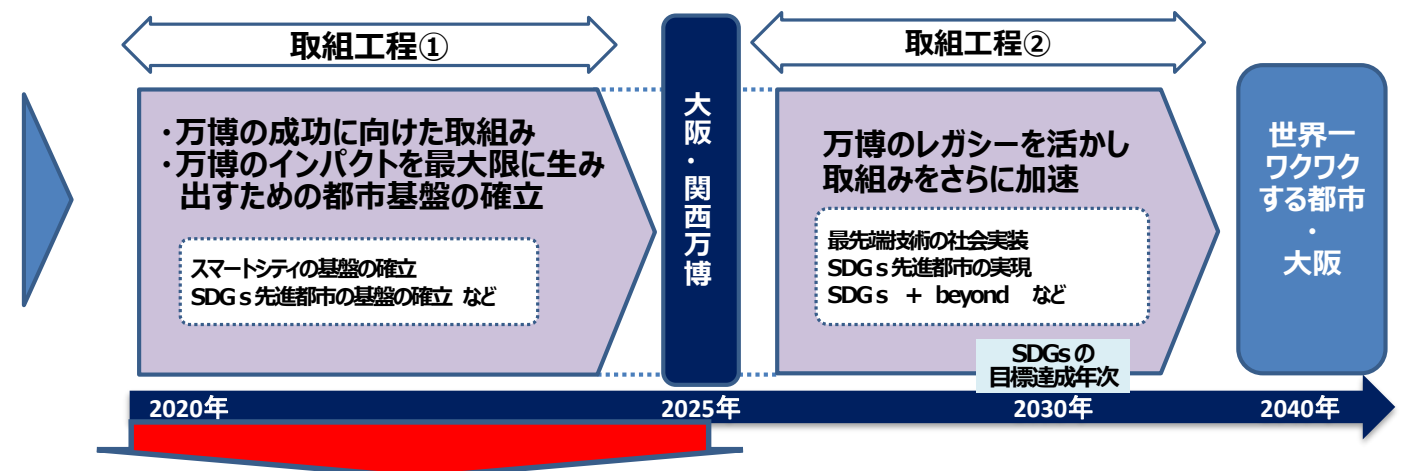
■取組みの工程：大阪の将来像の実現に向けた取組工程については、大きく2つに整理。

【取組工程①】2020年から2025年の大阪・関西万博まで

万博を成功に導くとともに、そのインパクトを最大限に生み出すための都市基盤を確立（スマートシティやSDG s 先進都市の基盤の確立など）

【取組工程②】万博開催後から2040年まで

確立した都市基盤を土台に、万博のレガシーを活かし、さらに取組みを加速（最先端技術の社会実装、SDGs +beyondを視野に入れた取組みなど）



※府内市町村、企業等へビジョンの共有・浸透を図るとともに、万博のインパクトを最大限に生み出すための基盤の確立に向け、バックキャスト（将来像から導き出す）とフォアキャスト（現在の施策の延長線）の両面から、2025年に向けた取組工程等を2020年度中に整理